

事業所名 グループホーム亀山
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 2月14日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 看護師(40年以上)
資格・経験 看護師、介護支援専門員
B: 現職 介護支援専門員
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、介護老人福祉施設(9年)
C: 現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法トレーナー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

ホームは、田園地帯の静かな環境の中にあり、洋風の2階建ての建物の1階に1ユニット、2階に2ユニットがあり、合計3ユニットで構成されている。1階にはデイサービスが併設されている。3ユニットの利点を大いに活用し、夜間や救急時の協体制を図っている。

入浴時間が19時から21時の間になっており、家庭生活の延長を思わせるもので好ましい。また、夜間の入浴は、安眠へと繋げる効果もある。デイケアと共有の機械浴もあり、介護度の重い方も入浴出来る。

母体として伊木診療所があり、緊急時には24時間体制で対応できることは入居者・家族にとって安心である。

春の花見、秋の紅葉散策など、四季折々の行事がある。法人合同のカラオケ大会やボランティア団体による演奏など、様々な催しを行っている。行事には家族も必ず参加しており、家族の協力も得られている。

職員に働きやすい環境を提供することがサービスの質の向上に繋がり、入居者への介護に反映されている。各種書類が整備されており、入居者の様子や心理面が細かく記録されている。

法人は総合福祉施設として地域への知名度も高く、介護老人保健施設・居宅介護支援センター・在宅介護支援センター・訪問看護ステーション・ケアハウス・介護用品の店などもあり、地域との連携が図れている。今後、更に地域の介護福祉施設としての発展も期待されている。

入居者および家族の希望により、ターミナルケアにも取り組んでいる。人間として最後まで尊厳を保ちながら住み慣れたホームで人生の終末を迎えられるよう、具体的な指針を設けて援助を行っている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)
特に無し

法人の介護老人保健施設では、介護教室が行われてきた。グループホーム自体では、現在のしっかりとした介護の体制と機能を地域に浸透させるよう、地域の要望により認知症についての講演を開催したり、川崎福祉大学の介護実習を受け入れるなど現在発展途上であり、今後とも益々の発展を期待したい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>基本理念として、「誠心誠意、親切、優しさ」をモットーに最良のサービスを提供することを目指している。</p> <p>具体的実践として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者本意の生活ができるよう、「しましょう」ではなく「しませんか」と入居者の自己決定を優先している。 ・さりげない声かけで、自尊心を傷つけないように人の気持ちを尊重する心を大切にしている。 <p>「バックグラウンド」「アセスメント表」「見直しシート」で、現在のニーズをアセスメントし、入居者がその人らしく生活しようとする「人としての当たり前の思い」に応える介護を重視し、支援している。</p> <p>入居者の話を丁寧に聴き、手を触れてのコミュニケーションを図り、個々の些細な言動にも気を留めた対応で個人の尊厳を尊重した支援をしている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>その人らしさを支える個別の介護を提供する為、入居者のバックグラウンド、生活歴等を把握し、今までの生活スタイルをできるだけ崩さず、好きなことができるように支援している。また、個々に合った対応により、精神的に落ち着いて生活できる場の提供に努めている。</p> <p>入居者個々の特徴を把握し、入居者が不安や帰宅願望を示した時は入居者と一緒に出掛けたり、寄り添って話を聴くなど気持ちの安定が保てるように配慮している。</p> <p>畑作りを楽しめる場所や、四季折々の花と実が楽しめる木々があり、入居者が落ち着いて生活を営める環境作りを努めている。</p> <p>畑作りへの手伝い、習字、繻物、塗り絵など自己決定の機会を作り、入居者一人ひとりが自分のペースで趣味に取り組んだり、したいことができるよう支援している。</p> <p>共用空間や居室には入居者の作品を展示し、生きがいや喜びを感じ、生活の場としての実感が湧く環境作りを努めている。</p> <p>ホームでのイベントには家族の参加が得られており、入居者と家族及び職員が共に幸せな気分を感じられる場作りに取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>過去の生活歴や楽しみなどになっていた経験に目を向け、個人を尊重しながら集団の中で役割が持てるように支援している。野菜の皮むき・米とぎ・掃除・洗濯物たたみ等、誰もが経験した事がある日常生活の中から、それぞれが得意とすることを自主的に行ってもらえるように支援している。</p> <p>入居者の過去の生活歴・経験を踏まえ、現在の残存機能に合わせた楽しみ・生きがいを持てるように支援している。喪失感に陥りやすい入居者に対して、生きがいを感じてもらえる接遇のあり方を重視している。</p> <p>入居者本人の「やりたいこと」を重要視し、本人の自主性を引き出す働きかけをしている。また、散歩や買い物などの外出で活性化を図っている。</p> <p>玄関や居室の入口は施錠せず、入居者の人格を尊重する支援をしている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>職員が研修に積極的に参加出来るよう、勤務体制に配慮している。研修レポートを作成して知識の共有化を図り、ケアの質の向上に繋げている。職員一人ひとりが、介護の知識・技術の向上のため意欲を持って取り組んでいる。</p> <p>衛生管理・感染防止には、特に留意している。常に安全を第一に考え、火災報知器等非常設備の自主点検を月2回行い、入居者の安全・安心な生活確保に尽力している。また、年2回、入居者も参加して防災訓練を実施している。緊急連絡網により、災害が発生した時には地域の方の協力が得られる体制を作っている。</p> <p>事故防止委員会を設置し、何かあった時にはその日の内に内容を検討し、事故防止に努めている。</p> <p>現状に満足することなく、より良い介護サービスを目指して日々研鑽している。管理者が中心となり、苦情処理の窓口を入居者の家族に紹介する等、積極的に改善していこうとする姿勢がある。</p>		